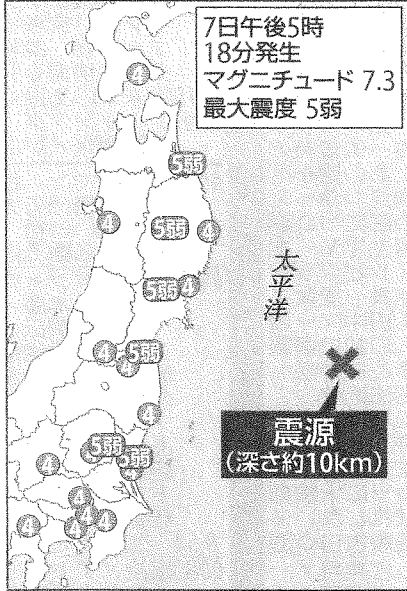


# 読賣新聞

2012年(平成24年)

12月8日 土曜日

### 各地の震度



### 各地の主な震度

▽震度5弱 青森県八戸市、階上町、盛岡市、岩手県滝沢村、宮城県栗原市、丸森町、茨城県常陸太田市、常陸大宮市、栃木県市貝町

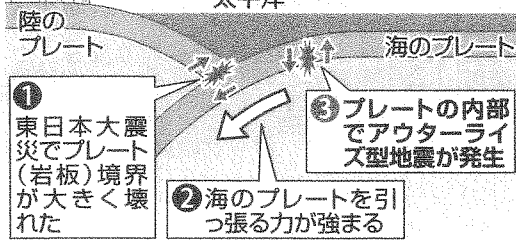
▽震度4 北海道函館市、秋田市、仙台市、福島市、山形県米沢市、前橋市、さいたま市、千葉市、横浜市、東京都渋谷区など

## 海溝外側で発生

三陸沖で7日起きたマグニチュード(M)7.3の地震は、海のプレート(岩板)が陸のプレートに沈み込む海溝の外側で起きる「アウターライズ型地震」だった。海底の浅い部分で断層が上下の方向に大きくずれるため、地震の規模に対して津波が高くなりやすいのが特徴だ。

今回の震源は宮城県・牡鹿半島の東、約240キロ。昨、昨年3月11日の東日本大震災(M9.0)の震源域の東側に位置する。震源の深さは約10キロ。浅い。気象庁では東日本大震災の余震としており、永井章・地震津波監視課長は記者会見で「東日本大震災でプレートの『ストッパー』が外れた状態になり、(海のプレート)引っ張る力が

### 今回の「アウターライズ型地震」のメカニズム



強まった影響で、断層がずれた」との見方を示した。今村文彦・東北大学教授(津波工学)は「三陸沖ではアウターライズ型地震が起こりやすい状態になっており、今後も注意が必要だ」と話している。